

第 26 西日本地区自転車競技大会

<テクニカルガイド>



**OITA CYCLING
FEDERATION**

1 会場

(1)トラック競技会場

別府競輪場

〒874-0021 大分県別府市亀川東町 1-36 TEL : 0977-66-0796

別府競輪第5駐車場経路 別府市内方面→ジョイフル前信号右折川沿い進行すると第5駐車場 赤表示 選手ピット 黄表示



2 日程

期日	時間	スケジュール	備考
4/22(土)	7:50~	指定練習 各班 20 分間	
	8:30~9:00	ライセンスコントロール	別府競輪場敢闘門(バックストレッチ側)
	9:30	監督会議	別府競輪場 H 側下審判室
	10:30	トラック競技 (1 日目)	別府競輪場
4/23(日)	9:00	トラック競技 (2 日目)	別府競輪場
	15:35	表彰式 (予定)	別府競輪場(ホームストレッチ側)

3 受付

(1) 選手・監督受付

2023 年有効のライセンスを持参すること。チーム毎に受付に提出すること。

ライセンス不携帯の際は、参加料（エントリー料）の 50%相当をペナルティとして徴収する。

(2) 配付物

①大会プログラム	各チーム 6 名以上 5 部、5 名以下 3 部
②選手・監督 ID	選手 1 名につき 1 枚+引率関係者 1 枚
③大会期間中の健康シート	代表者がまとめて管理(健康シートは各県で使用しているものを活用)
④大会同意書	大分県車連 HP からダウンロードし、代表者が受付時に提出

※アドレス:hashimoto-bunichi@oen.ed.jp

- (3) 選手変更・欠場申請、引率責任者・監督・チームサポート変更申請、プログラム記載事項訂正申請、その他申請については、監督会議終了後に書面で提出すること。

4 監督ミーティング

令和5年4月22日(土) 9:30～ 別府競輪場H側下審判室

5 開会式・閉会式

コロナ感染症予防対策として開会式・閉会式は実施しない。

6 表彰式

- (1) トラック競技 全レース終了後を予定しているが、密集回避の観点により本部にて手渡しのみもあり。後日案内する。
※以下(2)(3)については、セレモニー実施の際の内容。
- (2) 表彰を受ける選手は5分前には集合・待機し、係の誘導を聞くこと。
1～3位(賞状6位)まで表彰とする。
欠席した場合、その着位は「空位」として取り扱い、セレモニーを行う。
- (3) 服装は、原則「登録されたユニフォーム」とする。

7 トラック会場(別府競輪場)

- (1) 駐車場について
第10駐車場を利用すること。選手管理(検車場)側への駐車は、予め指定を受けた役員車両以外は厳禁とする。
- (2) 荷物の積み降ろしについて(荷物を降ろしたら第5駐車場へ移動)

4/22(土)	6:30～8:30	別府競輪場選手宿舎前駐車場
4/23(日)	14:30～16:30	別府競輪場選手宿舎前駐車場

上記の時間以外の車両の移動は制限されるので注意すること。変更がある際は、コミュニケにて案内する。

- (3) 別府競輪場の施設・敷地内利用について

- ①大会期間中は、場外発売が行われているため、立入禁止区域には、絶対に入らないこと。
※ホームストレッチ側の特別観覧席の利用は出来ません(競輪の場外発売専用)ので関係者へ案内のこと。
- ②競輪場内のコンセントの使用は厳禁とする。コンプレッサー使用時の発電機の使用は認めるが注意を払うこと。
- ③女子の更衣については、検車場裏の旧事務所1Fシャワー室が利用できる。
- ④競輪場内に張り出すチーム応援横断幕、のぼり旗等は、2-3コーナーのフェンス外側に限定する。観戦の妨げにならないよう配慮すること。
- ⑤場内に設置されているゴミ箱は使用しないこと。ゴミ等は各自各校にて持ち帰ること。
- ⑥屋外ローラー場の使用は認めるが管理棟1Fにあるローラー場の利用は厳禁とする。
- ⑦フィールド内でのローラーの使用は競技運営の支障をきたすおそれがあるため不可とする。
- ⑧喫煙は管理棟前(灰皿設置)のみとする。
- ⑨選手ピットは管理棟1Fとするが区割りは行わないので関係チーム譲り合いながら使用すること。

- (4) 自転車の保管について

自転車の保管については、検車場(管理棟1F)を開放するが、紛失、破損、事故等の責任は負わない。また**自転車整備(チェーンオイル)**は、**屋外での実施とし、走路に付着しないようにしっかりと拭き取る**こと。
備え付けの備品等には一切手を触れないこと。また、**ごみ等も必ず持ち帰る**こと。

- (5) 指定練習について

期日	時間	グループ	備考
4/22(土)	7:50～8:10	指定練習 1班	大分、長崎、佐賀
	8:15～8:35	指定練習 2班	福岡、山口、宮崎
	8:40～9:00	指定練習 3班	愛媛、熊本、鹿児島
	9:05～9:25	指定練習 4班	女子

- ①チーム関係者が選手の安全管理に責任をもって行うこと。
 - ②入退場については、バック側に限定する。役員の指示に従って移動し、走路に入る際はアップシューズとする。
- (6) 接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、主催者は賠償等の責任は負わない。

8 IDカード

今大会に参加する役員、選手ほか関係者は、常時 ID カードを身に付けなければならない。選手宿舎前より規制エリアとする。大会終了時に返却をすること。



9 宿泊・弁当 関係

- (1) 貴重品管理は各チーム（各自）の責任とする。
- (2) 宿舎内の備品・器物の破損や紛失がないよう、十分注意すること。宿舎から注意事項がある際は遵守のこと。
- (3) 宿舎内は、レーサーシューズでの歩行は禁止する。
- (4) ホテル内では常に整理整頓を心掛け、自転車整備や、部屋への自転車の持ち込みは禁止する。
- (5) 宿泊施設により、駐車場代が発生する場合がある。
- (6) 変更等がある際は、エージェントに必ず連絡すること。大会期間中は、大会本部へ変更内容を連絡すること。
- (7) 弁当配布について 11:00～ 屋外ローラー場前

11 交通規則の遵守について

所在地から会場への移動、宿舎と会場間の往復等は、常に交通規則を遵守するとともに、ロードバイクで移動する際は、必ずヘルメットを着用すること。監督、チーム関係者は責任を持って指導すること

12 その他

- (1) 今大会は観客制限を設けない。但し、場外発売があるので一般のお客様と同様の入場となり、入場門で体温チェック・消毒をおこなうこと。また、**別府競輪場の開場は 9:30** 以降となるので注意すること。2 日目の競技開始時間が 9 時からなので参観希望者は掲揚台(3 コーナー外側)付近からの参観を可とする。但し、9:30 以降の観覧については第 4 スタンド(1 コーナー上のスタンド)とする。

■ 大会特別規則 <共通事項>

1 大会名 第26回西日本地区自転車競技大会

JCF 競技規則 2023 年版、実施要項、および本大会特別規則により実施する。本大会の特別規則は「西日本地区自転車競技大会」のための特別規則であり、他の競技大会に適用されたり、先例となるものではない。

2 競技日程

2023 年 4 月 22 日（土）より、2 日間のトラックレースする。

3 大会本部

別府競輪場メインスタンド 1F 下審判室

4 コミッセル・パネル

競技運営委員長	橋本 文一	大分県自転車競技連盟	常務理事
審判長	塚崎 邦嗣	大分県自転車競技連盟	常務理事

5 参加資格

実施要項 ※以下、実施要項 4 参加資格、6 参加制限による。

6 参加申込

実施要項 8 参加申込による。

7 競技者（監督）受付・登録

実施要項、競技日程の時間内に、ライセンスコントロールを受けること。2023 年有効のライセンスの提示した後、ID カードを配布する。なお、チーム毎に受付に提出すること。

ライセンス不携帯の際は、参加料（エントリー料）の 50%相当をペナルティとして徴収する。

8 実施種目

実施要項 5 実施種目に準ずる。

9 使用機材

公益財団法人日本自転車競技連盟競技規則 2023 年版に準ずる。

① ヘルメット

JCF 公認ヘルメット、もしくは JKA 認定品（競輪用）とする。エアロヘルメットは T T 系種目のみ使用可能（競走系種目、練習では使用不可）破損、ひび割れ、公認シールのないものは使用できない。

トラックの競走系種目で使用するヘルメットは NO キャップが装着できるヘルメットとする。

② 自転車

チーム（競技者・監督・メカニシャン）の責任で競技規則 規定内に調整の上、参加のこと。

競技規則の例外適用（身体形態上の理由）の申請は、監督会議終了後とする。

申請は、競技者が使用する自転車と共に審判長まで申し出ること。（書類は不要）

ギア比：中学生は、競技規則のある U17 推奨値を上限とする。

10 ユニフォーム（ジャージ・パンツ）

所属するチームの登録されたユニフォームを着用すること。高体連加盟のチームは、登録されたユニフォームを着用すること。県対抗で実施する種目（特に団体種目）については、登録された県のユニフォームの着用を原則とする。やむを得ず、登録外ユニフォームを着用する際は、監督会議で承認を受けること。

11 賞典

実施要項 7 表彰 により行う。競技規則第 26 章

表彰対象者は、登録ユニフォームで出席すること。

1.2 救急措置（医務救護体制）

競技中の負傷疾病について、現場における応急措置を用意するが、以後の措置については参加者自身の責任によって行うこと。
大会本部に医務・救護所を設置する。参加者は健康保険証を必ず持参すること。
参加者は各自でスポーツ安全協会等の保険に加入すること。

近隣医療機関	別府医療センター	〒874-0011 大分県別府市内電 1473 番地 TEL : 0977-67-1111 (代表)
--------	----------	--

1.3 招集

バンク入り口付近に設ける。各競技者の出走予定時刻 15 分前までとする。

1.4 大会アナウンス（コミュニケの配布・配信）

大会進行は、アナウンスにより行う。また、コミュニケ等の配信については、紙媒体での配布は行わず、連盟ツイッターにておこなう。



1.5 個人情報の取り扱い

選手、応援者及び競技役員等の大会参加者の個人情報（画像、映像、音声データ等）については、本大会に帰属するとともに、大会の普及活動に利用する以外の目的に利用することはない。

■ 大会特別規則 <トラックレース>

TR1 全般

競技規則 第 6 3 条、第 6 6 条 9～1 5 項を熟読し遵守すること。

TR2 1km タイムトライアル

400m のトラック 2.5 周で行う。

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から 2 選手同時発送で行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

ホーム、バック同時スタートにて実施（プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと）

フライングがあった選手のみ次の組で再発送、該当しない選手はそのまま続行とする。2 回目は失格とする。

※詳細は、競技規則 P64 第 77 条による。

TR3 500m タイムトライアル

400m のトラック 1 + 1/4 周で行う。

スタートはバックストレッチの中央線から単独発送で行い、フィニッシュは 2Ce（3-4 コーナー間）。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車をセット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

フライングがあった際は直ちに再発送、2 回目は失格とする。

※詳細は、競技規則 P64 第 77 条による。

TR4 インディヴィデュアル・パーシュート (2km)

400mのトラック5周で行う。

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車セット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をソートし順位決定する。

※詳細は、競技規則 P61 第 75 条による。

TR5 スプリント

予選 200m フライング・タイムトライアルは手動計時とする。

予選 200m フライング・タイムトライアルは 2 周 800m を走行するうちの最後の 200m を計測する。

スタートはブルーバンドより、前競技者が 1 周回通過後に次走選手がスタートする。

予選上位 16 名による 1/8 決勝からトーナメントを開始する。

予選 → 1/8 決勝 (1 回戦) → 1/4 決勝 (1 回戦) → 1/2 決勝 (1 回戦) → 3-4 位決定戦 / 決勝 / 5-8 位決定戦。

順位決定戦から 3 回戦とする。

※詳細は、競技規則 P60 第 73 条、第 74 条による。

TR6 チーム・パーシュート

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

ホルダーは各チームで対応。(不足時は競技役員で対応)

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車セット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をソートし順位決定する。

※詳細は、競技規則 P62 第 76 条による。

TR7 チームスプリント

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

ホルダーは各チームで対応。(不足時は競技役員で対応)

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車セット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をソートし順位決定する。

※詳細は、競技規則 P67 第 80 条による。

TR8 ポイント・レース

予選 12km、決勝 24km にて行う。ポイント周回は 5 周毎とする。今大会、予選 2 組で上位 8 名が決勝へ進出。

ニュートラベーションは 3 周回 (1,300m 近い距離) とする。

ニュートラベーションの復帰が最後の 1km 以内となり競技に戻れない時、または最終 5 周回以内の認められた事故のとき、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

最終ポイントは倍点 (10 点、6 点、4 点、2 点)

周回ラップ：追いつき時：+ 20 点、追いつかれ時：- 20 点 (メロ集団を基準)

除外：周回遅れで、競走に支障がある時 (入賞の可能性がない等含む) (ハレースより除外する。

スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1 番キャップ以外は先着順とし、ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて (不足する際は競技役員) 行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

※詳細は、競技規則 P65 第 78 条による。

TR9 ケイリン

1 回戦 → 1 回戦敗者復活戦 → 2 回戦 → 準決勝 → 順位決定戦

1 回戦 → 上位 2 名が 2 回戦、敗者復活戦 → 上位 1 名が 2 回戦、2 回戦 → 上位 3 名が準決勝、準決勝 → 上位 3 名が 1-6 位決定戦、下位 3 名が 7-12 位決定戦。

400m のトラック 4 周回で実施する。

スタートにおいて競技者はペーサーの直後で抽選によって決定された位置を取り、スタート後少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。すみやかに追走しない際は、その競技者を除外し、再スタートする。

ペーサーはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は 30 km/h、フィニッシュ 2.0 周前の測定線（200m）を過ぎてトラックを離れるまでに、徐々に 50 km/h まで加速する。

ペーサーは残り 600m 付近で離脱する。

一人または、複数の競技者が、ペーサーが中央線においてトラックを離れる前にペーサーの前輪前端を追い抜いた場合、競技を停止し、失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。

競走中に全競技者が落車等事故の際は救済措置により再スタートとする。

スタート後半周以内の事故が発生したとき、再スタートとするが、半周以降の事故は再レースとはならない。事故の内容により制裁の対象となる。

コンタクトプレー等（第 71 条 8 項 順守違反）については、厳しい態度と裁定で対応する。

ホルダーについては、同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。

※詳細は、競技規則 P66 第 79 条による。

TR10 スクラッチ

予選 3 組：6km (15 周回) 決勝：8km (20 周) 女子：6km (15 周回) で実施する。

周回遅れでメイン集団に追付かれた競技者は除外とする。

先頭の競技者を基準とし、周回数が同一のとき最後のスプリント着順で順位を決定する。

ニュートラベーションは 3 周回（1,300m 近い距離）、最後の 1km は競技に戻ることは出来ない。

最後の 1km で競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。

スタート位置は、スプリンターレーンにヘルメットキャップ奇数番号、走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1 番キャップ以外は先着順とし、ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

※詳細は、競技規則 P69 第 82 条による。

TR11 4km 速度競走

競走距離：4km ラウンド：予選 3 組で実施し上位 4 名が決勝進出とする。

先頭責任数不足で合計が同数のとき、H/B 均等取得者を優位とする。

ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。但し、選手を押したりしないこと。

大会開催に伴う新型コロナウイルス感染防止対策について（お願い）

1 共通事項

- (1) 入場者が次に該当する場合は、入場をお断りします。
 - ① 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) マスクを持参する。（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用）
- (3) うがい、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- (4) フィジカルディスタンスの確保（他の方との距離（できるだけ2 m以上）を確保する）

2 受付及びサイン時

- (1) 受付時に検温（非接触型検温器）を実施します。

3 競技開始前

- (1) スタートラインに並ぶよう指示があるまで間隔を空けて待機して下さい。
- (2) スタート位置では、できるだけ隣の選手から2 m以上離れて下さい。

4 フィニッシュ（競技終了）後

- (1) 速やかに、うがい、洗顔、手洗い、手指消毒を行って下さい。
- (2) 消毒後は、マスクを着用して下さい。

5 表彰式

- (1) それぞれの種目毎に1～3位の選手が集合した段階で表彰を始めます。
- (2) 種目毎に順番に放送でお呼びします。

6 その他

- (1) 上記の感染防止対策は、最低限のお願いです。
- (2) 観客、選手、役員がそれぞれ感染防止対策、咳エチケット等を常に意識し徹底して行って下さい。
- (3) 大会前の2週間は体温を測り、異常があった際は医療機関に相談し、指示を仰いで下さい。
- (4) 大会終了後、2週間以内に新型コロナ感染症と診断された場合は、事務局にご連絡下さい。